

長寿会新聞

ふれあい

発行 平群町会
長寿会
ふれあい
情報部

高齢者相互支援事業

4月スタート後の活動状況報告

平群町長寿会連合会 会長 岡 嘉道

平群町長寿会連合会活性化の切り札として、平成30年4月より取り組んでまいりました高齢者相互支援事業部の「5つのチーム事業」の内「3つのチーム事業」がこの4月1日スタートしたことは「ふれあい新聞」4月号、5月号で詳しく報告させて頂きました。

「3つのチーム事業」は

1 「見守り活動チーム」 安否確認、見守り活動等

2 「集いの場づくりチーム」 愛称「おしゃべり食堂」の運営

3 「家事支援チーム」 屋内の片付け、ごみ出し、軽剪定等
その後、3ヶ月経過した今の活動状況を在りのままに報告し、皆様方のご理解と、ご支援を戴きたいものと思っております。各チームとも、走りながら考える手探りの状況ではありますが、チームリーダーを中心に結束した活動を続けております。今回は、「家事支援チーム」の活動振りを、チームリーダー中戸資祝氏より報告をいただきます。

家事支援チーム

チームリーダー 中戸資祝
コロナ禍の真つ最中の令和3年4月より家事支援チームが発足しました。発足を待っていたかのように依頼が来てうれしい悲鳴

コラム記事

更新のお知らせ

ほぼ、3年に亘り続けてまいりました「地区長寿会紹介」記事はこの7月で終了致しました。地区会長様には長らく御協力戴き有難うございました。

8月号からは、40ある趣味のクラブの「紹介記事」を掲載いたします。

トップバッターは先月加入の女性コーラスOh!ハッピークラブです。

9月号からは「健康体操」から順次掲載してまいります。

女声コーラス「Oh!ハッピー」

篠原 てるみ

この度、平群町長寿会クラブに参加する事になりました「女声コーラスOh!ハッピー」です。
私達クラブは、プリズムを主に活動の場所として来ましたが、御縁があり、かしのき荘でお世話になる事になりました。長寿会クラブに入るに至っては、色々お世話になり感謝申し上げます。新たな場所で分らない事も多くご迷惑をおかけする事もあると思ひますが、宜しく願い申し上げます。
さてOh!ハッピークラブは榎木先生

短時間で済む内容にお願いいたします。

二、植木の剪定(一般の剪定は庭師かシルバー人材センターにお願いいたします。指定された小枝を切断・伐採(邪魔な木の伐採)

三、粗大ゴミの搬出

四、電器器具の不良・相談(専門的な修理は電気屋さんへお願いいたします。取扱いの不慣れが半分でした。電球の交換・TVラジオがつかない・パソコンが動かない等)

五、水回りの不良・相談(水漏れ・排水詰り・器具の取付け・取外し)。

六、買い物への同伴、病院等への同伴(外出支援は家事支援の対象となりません。10月1日スタートするデマンドタクシーのご利用をお願いいたします)

七、その他いろいろの依頼がありました。

平均して月当たり4〜5件ですが平群町内の各地区長さんが対応された分を考えると件数は数倍になると思われまふ。

お互い高齢者になり今まで簡単に出来ていた事が出来なくなり困っている唯一の相談窓口ですので、尚いっそう利用して頂けるよう頑張ります。

尚、お困り相談依頼のお願いとして1〜2時間以内(高齢者ですの

で)の作業内容にお願いいたします。

何処にも相談出来る処が無い場合にはお気軽にお声掛けください。(一般に依頼できる業者が有る場合は、そちらのご利用をお願いいたします。)

現在、家事支援チームは、リーダーの中戸資祝氏を含めて7人で活動致して居りますが、この陣容では今後益々多種多様化するすべての相談に対応することは出来ません。

高齢者同士の助け合いの考えで、お手伝いをさせて頂いておりますので元気な方の応援と参加を是非お願いいたします。

第123回健康ウォーク

まほろば遊歩道を歩く

健康部副部長 鶴飼 勤

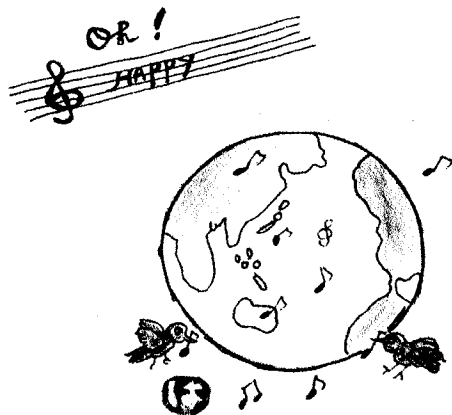
東山に集合した26人は準備体操のあと出発。コメリの裏手の道路から階段を降りてまほろば遊歩道に。竜田川の溪谷馬鋤淵へ。

奇岩と急流、音を立てて落ちる滝と大きな淵。その昔、一日の農作業を終えて馬鋤を洗っていたところ河童(ガタロ)に馬ごと引きずり込まれてしまったというお話

(裏面へ続く)

と思います。

これからも榎木先生のご指導のもと楽しんで続けて行きたいと思ひます。そして長寿会クラブの皆様方、今後とも宜しくお願い致します。



甘口辛口

先日の朝日新聞に、愛知県知事に対するリコール署名偽造事件で運動を主導した団体の事務局長が逮捕された記事が載っていました。昨年11月愛知県選挙管理委員会に提出されたリコール署名43万5千筆のうち83%近くに無効の疑いがあるとして、選挙が愛知県警に刑事告発したことから事件が明らかになったものの署名簿の偽造は、昨年10月頃遠く離れた佐賀市内で募集したアルバイトに事務局長が指示して、愛知県内の有権者の氏名をリコール署名簿に書き写させて行われ、1

枚の署名用紙に10人のサインがまるまる同じ筆跡で殴り書きしてあるお粗末極まりない代物でした。リコールとは、選挙で示された民意を覆すことになるだけに、手続きは地方自治法で厳格に定められており有権者の住所、氏名、生年月日、署名した日付、と押印が必要であり、代筆は認められません。民主主義の根幹をなす制度を悪用し、自己の主張を通す為、民意の捏造を図ろうとした前代未聞の不祥事であり、見逃せません。トカゲのしっぽ切りでは許される話ではありません。

令和3年8月度 老人福祉センター「かしのき荘」利用表

日	曜	集会室(2階)	和室		会議室		小会議室(1)		新館・会議室	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
2	月	機	原	因 喜	小 笠					
3	火			増 根	田 中	石 葉 台 健 康 麻 雀	長 寿 会 三 役 会	長 寿 会 健 康 部		
4	水		貴 向 体 操		和 歌 朗 詠				ア ロ ハ ヨ	ー ガ
5	木			因 喜					健康麻雀	
6	金			増 根	編 物				太 極 拳	ウ ク レ
7	土				健康麻雀有志			石 葉 台 健 康 麻 雀	オ カ リ ナ	第 九
10	火			増 根				石 葉 台 健 康 麻 雀	長 寿 会 本 部 役 員 会	
11	水									
12	木			因 喜	ア ー ト フ ラ ウ ー			英 会 話	Oh!ハッピー	
13	金			増 根						
14	土				健康麻雀有志			石 葉 台 健 康 麻 雀		
16	月	光	ヶ 丘	因 喜					高齢者相互支援事業部	
17	火			増 根	田 中	石 葉 台 健 康 麻 雀	折 り 紙	健康麻雀		
18	水				和 歌 朗 詠 川 柳		楽 農	ア ロ ハ		
19	木			因 喜	反 禅	近 郊 交 流 部 (手 品 研 究)		扇 刺 の 会	吹 矢	
20	金	御 陵	苑	ふれあい情報部	増 根	編 物	布 遊 び	太 極 拳	ウ ク レ	レ
21	土				健康麻雀有志			石 葉 台 健 康 麻 雀	ヨ	ー ガ 第 九
23	月			因 喜	小 笠					
24	火	若 井 ・ 越 木 塚 ・ 福 貴		増 根	詩 吟			石 葉 台 健 康 麻 雀		
25	水	福 貴 畑 ・ 久 安 寺	貴 向 体 操		リ フ ォ ー ム 手 芸				ア ロ ハ	ハ ソ コ ン
26	木	下 迫	内	因 喜	ア ー ト フ ラ ウ ー			英 会 話	Oh!ハッピー	新 舞 踊
27	金	信 貴	畑	増 根					吹 矢	矢
28	土	ふ れ あ い			健康麻雀有志			石 葉 台 健 康 麻 雀	ヨ	ー ガ オ カ リ ナ
30	月			因 喜						
31	火			増 根		石 葉 台 健 康 麻 雀			扇 刺 の 会	

次回のふれあい新聞は8月27日(金)に印刷発行 ※陶芸クラブ8月は休みです

(表面より)

も。ここでみんなそろって記念写真撮影。小休止の後、奈良時代に行基によって開かれたと伝えられる金勝寺を過ぎて、龍穴があったところにかかる勸請縄へ。横原地区に悪霊が入らぬよう村を守っている結果。毎年正月に掛け替え行事が行われますが、コロナ禍のため、今年は例年通りには行われなかったそうです。

さらに竜田川沿いに青葉の桜並木の遊歩道を南に、中間点の「かしのき庄」まで。ここまでで帰られた方も。ひと休みして南へ。森脇橋を渡って桜並木を進みます。右手の安養寺のあたりに藤原宮造宮のときの瓦窯があり、竜田川を利用して運んだのだそうです。全行程約5kmを歩いて、ほぼ予定通り、正午には目的地のプリズムに到着しました。



お知らせ

◇8月の健康ウォークはお休みいたします。

◇9月の健康ウォークに参加宜しくお願い致します

第121回健康ウォーク

活歩賞受賞者

活歩賞(金賞) 50回参加
益田 親枝様左(竜田川NP)
活歩賞(銅賞) 10回参加
浅田 博三様右(椿台)
おめでとうございます。今後も元気で参加してください。



「ヤングケアラー」って?

春日丘長寿会 堀田東作

今回は新聞の記事から事例を2件選んだ。

一件目は当時中学一年生だった横浜市の女性Aさん(31歳)のケース

Aさんは小学校6年生から交通事故で手足が動かなくなつたシングルマザーの母を介護していた。障害福祉サービスの利用してヘルパーが派遣されていたが、調理、洗濯などの家事援助は対象である母のみであった。

その結果、Aさんの衣服等や朝食の支援はなく、翌日の体育の授業に体操服を着れなかったり、登校途中に購入したゼリー飲料が朝食だったこともあったそう。母は「娘が学校から帰ってきてから自分で洗濯していたら明日までに乾かないから一緒に洗ってほしい」と懇願していた。

もちろん、ヘルパーにも「洗濯物が混じっていても私にはわからない

いからね」と内緒で応じてくれる人もいたらしいが、ほとんどのヘルパーからは「中学生は大人だから」と助けてもらえなかったとのこと。

Aさんは介護の疲れから中学の授業中によく寝てしまい成績が落ちた。

家庭訪問で事情を知った担任教師が「最近どう」と気にかけてくれるようになって孤立感は少しだけ和らいだとのこと。

その後、奨学金を利用して大学を卒業し、就職したが、介護休暇に理解がない会社であったためやむなく退社し、ヘルパー派遣をする障害福祉事業所を自ら起業した。

現在、事業者の立場から厚生労働省に「ヤングケアラー」の支援のために「18歳未満の介護者」への援助を基準に加えるよう求めている。

二件目は当時中学生で母子家庭に育った男性Bさん(23歳)のケース

Bさんはうつ病の母の「一緒に死のう」といった不安定な言動を受け止める精神的なサポートも担っていたそう。人付き合いが難しくなつた母と社会のつながりの一つが地域の民生委員訪問であった。その後母の希望で引っ越した。そこは通学にとっても不便な場所だった。引っ越しにより民生委員の訪問がなくなり地域で孤立した。自治体の学用品費などが援助される「就学援助制度」も高校から対象外なつた。大学進学を控える時期に経済的不安が大きくなつたが、教師や友人には悩みをさらけ出せず更に孤立化した。母の病状がさらに悪化したため、NPOなどの地域支援を受けられるようになり、民生委員の訪問も復活した。

Aさんは現在母の元を離れ大学院で研究生活を送っているとのこと。

しかし、「ヤングケアラー」や家族が支援を受ける手段を子ども自らが自力で探して当てるのは大変困難だと思ふ。既存の制度のはざま

で孤立したまま状況が改善しない子どもたちは少なくないはず。この事例から学んだことは『既存の制度では救えない』『孤立化が進む』という事だ。(今月はここまで、次回は全国調査についてです。)

赤いバラの花

初香台長寿会 田尻セツ子

いささか旧聞になるが、昨年の8月に誤嚥により小脳内出血をおこし休養していた加山雄三が、彼自身が60年代に作詞作曲し、未発表のままだった「赤いバラの花」を新田2人の加山がコラボする形でリリース、4月の84歳の誕生日を機に音楽活動を再開した。心を込めて贈る赤いバラの花

軽やかな歌声が始まるリズムカルな曲は「夜空の星」や「君といつまでも」など、私たち世代にとつて馴染み深い曲と共に、まさしくあの時代の加山雄三の世界である。日本人ばなれした容姿、ヨットを操り常に湘南の風をまとっている様なエシンのぼんぼんは、あの時代の私たちにとっては憧れの存在であった。(因みに彼の高祖父は岩倉具視である)

彼の歌声を聴きながら私のこれまでの長い時間の中に、男性から花を贈られた記憶は無いなあと、ぼんやり考えていたら、ふっと、20年ほど前にビザ無し交流で行った国後島で黒百合の花を買った事を思い出した。

彼は、20人ほどの私たちグループの案内役で、ストロボフスカヤ自然公園へ行く途中、野原にたくさん咲いていた黒百合を、小さな花束にして何か言いながら私にくれた。

周りがはやし立てる中、気聴しい思いをしながら覚えたてのロシア語で、スパスイバ(有難う)と言って受け取った。が、彼が何んと言っていたのかは未だに分らないまま、男性から花を贈られたたつた一回の貴重な思い出として甦ってきた。

花と音楽はこれまでも、そして、これからも私の日々を彩る大切な糧である。

俳句クラブ

七月のかしの木句会(五十音順 循環 句の次行の(一)は季語・季節)

卓の傷子の声聞こゆカブト虫

岩城 和子 (カブト虫・夏)

プールより突き出る脚の太さかな

江崎 俊夫 (プール・夏)

円卓を囲み聞きある敗戦日

岡本 豊子 (敗戦日・夏)

卓上に火(ひ)蛾(が)の亡骸(なきが)らこぼれをり

澤波百合子 (火蛾・夏)

火蛾(が)夏の夜の灯火に飛んでくる蛾

中川 克己 (火蛾・夏)

船細工のやうな面体(めんてい)の蝸牛

青空に泰山木の白き花

花岡 安子 (泰山木の花・夏)

荒壁の乾いてゆくや梅雨晴間

吉原恵美子 (梅雨晴間・夏)

鳩(つ)き上げる母の匂ひの蓮餅

乾 フジ子 (蓮餅・春)

短歌クラブ (五十音順 循環)

登り坂光差し込む道しるべかすかな風に踊る竹林

徳原とも子

今日こそは明日こそはと日々過ごしつつ老いの一日はもどかしきかな

野木 宗信

コロナ禍で車の数がやたら増え車道をさけて野の花めぐる

飯田 陽子

一日に何度ものぞく郵便受けそろそろ来るかワクチン接種日

魚住 潤子

赤い羽根帽子に付けて町歩く精一杯の八十路のお洒落

大村 三郎

執念で杖を見つけた喜びに足の痛みも少しまし

川柳クラブ
「高齡の皆さん、新型コロナウィルスのワクチン接種はお済みでしょうか。世界中の社会構造や経済に大きな影響を与えましたね。もう少しです、我慢をしてコロナウィルス後の生活を戻し、安心出来る毎日を過ごしたいものです。」
今回の詠題は「糸」
五〇年よくもつたねと赤い糸
糸からみ俺の魚は逃げて行く
ややこしい仲裁入り糸もつれ
からむ糸あの人に似てややこしい
糸切り歯歯ざしりしても糸切れず
糸通し一発ででき針進む
赤い糸今では古着のほつれ糸
あれ買つて孫の糸ひく若夫婦
糸くずを取つてあげただけなのに
糸切り歯妻の場合は牙となる
くもの糸虫をからめて空ゆらぐ
すき焼の名脇役は糸コンじや
山田 謙造
おくやみ
令和3年6月20日から7月19日の間に左記の会員の方のご逝去が確認されました。
生前を偲び、謹んでご冥福をお祈り致します。
岩井 敬子様(90) 上庄台地区
早川 雅也様(84) 初香台地区
吉川 昌雄様(94) 鳴川 地区
岡田 光子様(100) 鳴川 地区
森 ミツエ様(92) 西向 地区
長寿会連合会一同